

## 特別寄稿

### 持続可能な地域社会の実現に向けて～SDGs 未来都市しもかわ～

北海道下川町政策推進課 SDG s 推進室長 藁島 豪



#### 1. 持続可能な地域社会を創る

下川町は、人口約 3,300 人、町の面積は東京 23 区と同等で、このうち森林が 88% を占め、古くから森林資源を活用したまちづくりを行っています。

特に、「持続可能な地域社会の実現」を目指し、政府から環境モデル都市（'08 年）、環境未来都市（'11 年）の選定を受けるなどして、経済（森林総合産業構築）・社会（超高齢化対応社会）・環境（創造エネルギー自給と低炭素化）の 3 領域の価値創造、統合的解決をコンセプトとした取組みを進めてきました。（図 1）



#### 2. 第 1 回ジャパン SDGs アワード

##### 総理大臣賞受賞

具体的には、森林資源を最大限、最大効率で活用することを基本として、植林・育林・伐採・植林を繰り返す循環型森林経営システムの確立、廃棄物をできるだけ出さないゼロエミッションの木材加工、未利用の林地残材などをバイオマス原料とした地域エネルギー自給と低炭素化、地域熱供給システムを核とした超高齢化集落の再生など、経済・社会・環境の統合的取組を進めています。

こうした取組みを進めてきた結果、人口減少が緩和、近年では社会動態転入超過の年が散見、地域熱エネルギー自給率が 49% に到達するなど、持続可能な地域社会の「芽」が発現しています。

こうした取組みと実績が評価をされ、2017 年の「第 1 回ジャパン SDGs アワード」で内閣総理大臣賞（最高賞）を受賞しました。

#### 3. SDG s 未来都市しもかわ

2016 年から SDGs をまちづくりに取り入れた取組を進めています。

